

令和4年1月12日

教育委員会

教育文化委員会 所管事務調査

「GIGA スクール構想・ICT 教育下における教育環境の整備について」

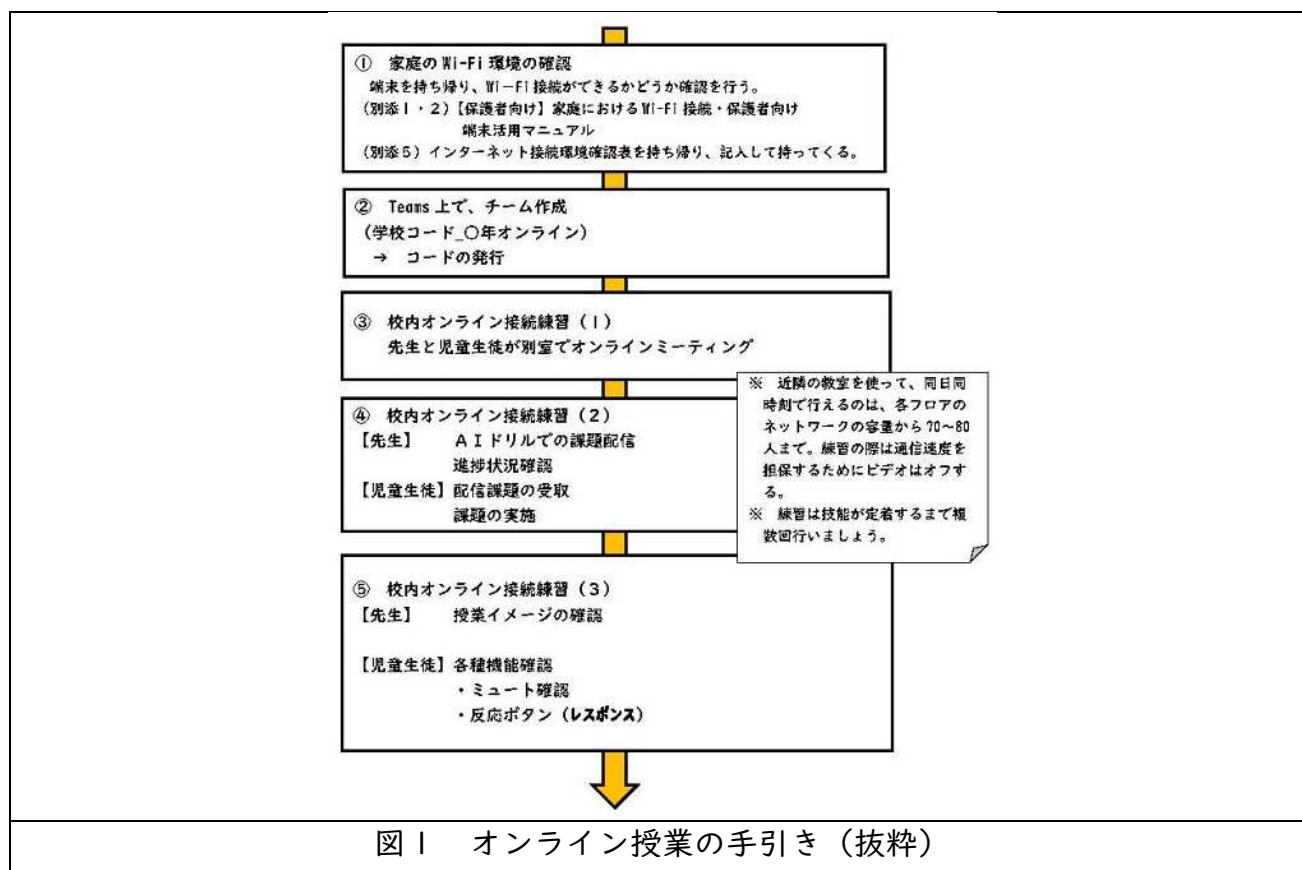
- I 2学期以降のオンライン授業の実績・効果について
(教育情報化推進課)

- II 未来へのとびらオンライン授業の取り組みについて
(生徒指導・教育相談課)

I 2学期以降のオンライン授業の実績・効果について

I 今年度におけるオンライン授業の経過

- ◇4月 関西圏の新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、「非常時におけるオンライン授業の実施について（通知）」とあわせて実施の基準や実施までに必要な準備のフロー等をまとめた（図1）「非常時におけるオンライン授業の手引き」を作成し、発出。
- ◇4月 各学校において、手引きを基にオンライン授業用のアプリの設定、教員の操作技能研修など教員側の準備実施
- ◇5月 校内で児童生徒および教員の接続テストを実施。また、GIGA 端末を家庭に持ち帰り、端末の起動や操作方法の確認および家庭のWi-Fiへの接続を行い、児童生徒のオンライン授業の参加に向けての準備を実施。
- ◇6月 準備のできた学校からオンライン授業を実施
- ◇8月 県内の感染拡大に伴い2学期に向けて「オンライン授業の手引き」を見直し、定例校・園長会にて説明。あわせて、9月1日よりオンライン授業の全面実施を通知
 - ① オンライン授業について、保護者からの要望がある場合は必ず行うこと
 - ② 対象を全学年に拡大
 - ③ 対象授業を原則行われる授業の全てに拡大
- ◇8月 オンライン授業実施に向けた操作技能研修をオンラインにて実施
(市内教員1500名程度参加)
- ◇9月 ほぼ全ての学校において、オンライン授業を実施



2 オンライン授業の様子

- ① 休校によるオンライン授業の実施（写真1）。
- ② 休校明けのオンライン授業の様子（写真2）。授業を配信するGIGA端末は、黒板から3メートル程度離して設置。
- ③ 配信映像の見え方を意識し、掲示物を用いたり板書を工夫したりしている（写真3）。



（写真1）スタジオ型（休校時の対応）

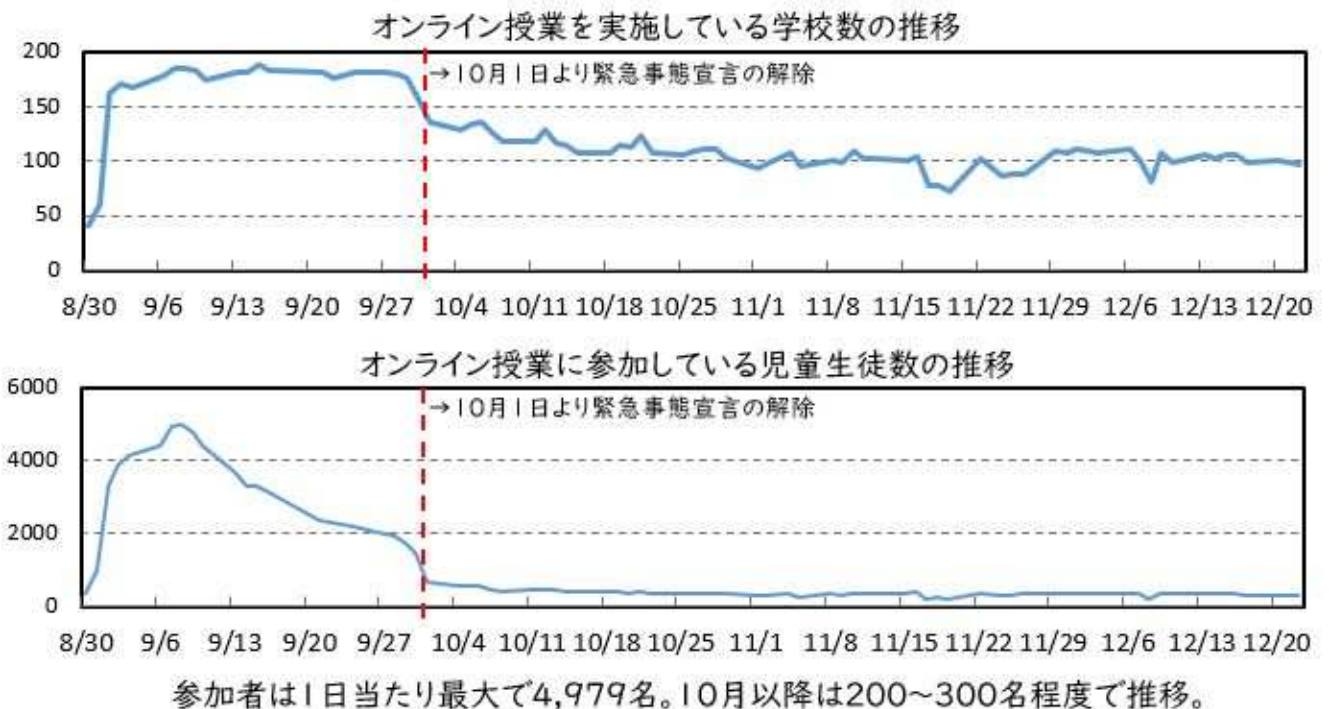


（写真2）リモート参加型（授業中継）



（写真3）リモート参加型（授業中継）

3 オンライン授業における参加児童生徒の人数等の推移



4 オンライン授業の成果と課題

○ 成果

- ・ 緊急事態宣言下において、オンライン授業を希望された学校において確実に実施することができ、一定の学習保障や児童生徒とのつながりの確保ができた。
- ・ 今後も必要に応じてオンライン授業を実施できる知識と技能の蓄積が学校に整った。
- ・ 授業参観や学校行事など、コロナ禍で自粛していた行事をオンライン授業のノウハウを活用しながら、行われるようになった。

○ 課題

- ・ オンライン授業中のシステムトラブルについては、ハード面、ソフト面と多岐にわたるため、教員どうしの情報共有や起こったトラブル解決に向けた研修を行う必要があるなど、教員の負担増となっている。
- ・ 対面の授業を行いながら、オンラインで授業を中継する関係上、対面とオンライン参加の児童生徒のどちらも意識しながら授業を行うため、授業実施における負担が大きい。また、1つの授業で対面とオンラインの2つの準備をする必要があり、新たな業務負担となっている。
- ・ 緊急事態宣言が解除され、オンライン授業参加者は激減したものの、300名程度の児童生徒が現在も継続している。感染関連や感染予防からの登校控えから、不登校へと変移しつつある。
- ・ 学校に登校しなくとも、授業に参加できることから、今まで登校できていた生徒が、不登校となっている報告がある。

Ⅱ 未来へのとびらオンライン授業の取り組みについて

1 実施者 北九州市教育委員会

2 実施場所 北九州市教育センター

3 対象者 欠席が長期継続している中学生のうち、オンライン授業を希望する中学校 1～3 年生
※ 授業は中学校 1～3年生合同で行う。

4 実施内容

【目的】

生徒が、将来、社会的に自立することができるように、一人 1 台タブレット端末を活用して支援します。

- ◇ 規則正しい生活習慣への改善につなげる
- ◇ ソーシャルスキル(コミュニケーション能力)の基礎を身に付ける
- ◇ 学習への興味・関心をもつ など

【学習内容】

◎学習科目:国語、数学、英語、社会、理科、自立活動を予定

※ 学習内容は、学校で行われている授業とは異なり、上記の「目的」が達成できるように工夫した内容になっています。

◎実施日:週3回(月・水・金曜日)

- ① 9:00 ~ 9:10 朝の会 (オンライン上の担任)
- ② 9:10 ~ 9:50 授業 (教科メンタリング教員)
- ③ 9:50 ~ 10:00 終わりの会 (オンライン上の担任)
- ④ 10:00 ~ 10:30 質問タイム (教科メンタリング教員)

※ 教科メンタリング
教員とは……

専門教科の指導に
おいて豊富な知識と指
導技術をもった教員。

【実施期間・内容】

◎令和3年8月30日(月)・9月1日(水)・3日(金):オリエンテーション(3回)

◎9月6日~2月末:国語科、数学科、英語科、理科、社会科、自立を実施

※ 12月17日時点で41回実施(終業式含む、他1回は台風のため中止)

※ 内、「児童文化科学館」より科学実験の授業2回、
「いのちのたび博物館」よりオンライン社会科見学1回を実施

3 参加登録者数 198名(12月21日現在)

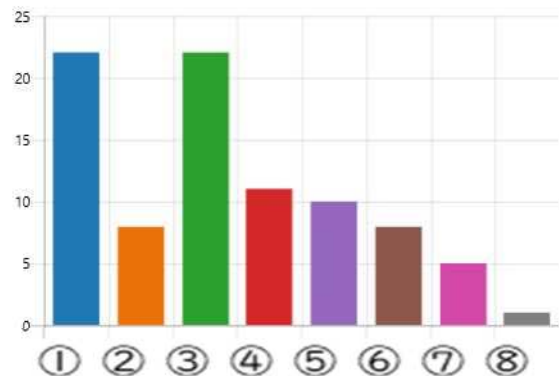
4 授業の様子



5 「未来へのとびらオンライン授業」参加生徒の声（12月21日時点 回答者35名）

(1) 「未来へのとびらオンライン授業」に参加して、以前と変わったことはありますか。

- | | |
|--|----|
| ① 決まった時間に起きようになった。 | 22 |
| ② 学習するのが楽しくなった。 | 8 |
| ③ タブレットを使って学習する機会が増えた。 | 22 |
| ④ 「未来へのとびらオンライン授業」について
家族と話をするようになった。 | 11 |
| ⑤ 学習以外にも興味をもつことが増えた。 | 10 |
| ⑥ いのちのたび博物館に行ってみたいと思った。 | 8 |
| ⑦ 学校の授業にも参加してみたくなった。 | 5 |
| ⑧ その他(自由回答) | 1 |



⑧ その他の回答

- 未来へのとびらオンライン授業に参加する前は、授業に出ていないことに対して毎日不安で仕方なかったけど、このオンライン授業に参加するようになってみんなと勉強できていることの安心感のおかげで、気分が悪くなったりすることが一気に減りました!

(2) これまで「未来へのとびらオンライン授業」に参加してみた感想

- 昼夜逆転がなおせて嬉しい
- 朝起きれるようになったし、夜も寝れるようになったので参加してみてよかったです。
- 自分が少し前向きになれた気がします。人とよく話すようになりました。
- 学習が習慣になったのでよかったです。
- 授業が面白くわかりやすかった。
- 先生たちがともて明るく優しくとても楽しかったです。
- 一人では学習できなかったことを学習できて楽しかった。
- 三学期が終わったら高校生になるから「未来へのとびらオンライン授業」が名残惜しい。たまに、カメラをオンにしようかなと思うが、オンにできない。次回も楽しみにしています。
- 月、水、金が楽しみになりました。家にいることで勉強にふれる機会があまりなかったけど、オンライン授業のおかげで勉強できています。
- 授業が楽しいので、続けています。
- 参加しやすく勉強する機会が増えた。
- オンライン授業がある日は楽しみだなと思えるようになりました。
- 短くてやりやすい。わかりやすくて楽しい。
- 初めて参加するとき、緊張しすぎて30分前から待機していました。参加することが決まった時は、一回参加してすぐ無理になって辞めようと思っていました。でも、朝の会で先生が優しい笑顔で一生懸命楽しませてくれて、また参加したいと思えました!
- 朝早く起きれるようになったのでよかったです。工夫して自習ができるようになったのがうれしいです。
- 学習の内容も面白くて私が知らないいろんなことをたくさん知ることができました。たくさん勉強以外のことを教えてくださりありがとうございます。